学校だより　文武

【めざす生徒像】利他共生
自分のよさを知り、友だちのよさにも
気付き、互いに伸ばし合っていく生徒

充実の二学期終了

例年になく暖かい冬が続き、日だまりがことのほか暖かく感じられます。ここ数年重くのしかかっていたコロナ感染症も５類へ移行し、世の中が少しずつ元に戻って参りました。保護者の皆様には、年の暮、ご多忙の中にも活気あふれる日々をお過ごしのことと存じます。

本日、２学期が無事終了しました。授業日は82日間でした。インフルエンザによる軽減はあったものの、休校等がなかったので現時点での９教科の授業実施時数は、ほぼ予定通りで遅れはありません。

子どもたちには、担任より２学期の通知表を手渡しました。１年生から３年生まで、毎日の授業、様々な行事、部活動への取組等、あらゆる場面で真剣に頑張っていたと思います。また、今年は村教育委員会のお取り計らいで各界の第一人者による講演会（谷人講座）を月１回のペースで実施してきました。あるときは世界のこと、あるときは地元川場を題材に、自然保護や未来エネルギーのことなど多種多様なお話を聞くことができ、まさに充実の２学期でした。いつものように気持ちのよい挨拶や返事、規律正しく爽やかな川場中のよき伝統は健在です。それに加えて、話し合いが上手になりました。自分の確かな意見をもち、相手の話も聞きながら折り合いを付ける。将来役に立つ力であり、本校が県より指定を受けている非認知能力でもあります。

１学期終了時にも書きましたが、通知表の数字だけにとらわれず、ご家庭では、まず子どもたちの頑張ったところを認めていただき、次にこれからどこに力を入れていけばよいか、改善することは何かを、教科所見等を参考にしながら助言し励ましてください。

子どもたちが自分で決断し取り組んだことは、結果を問わず一番の財産です。成功すれば自己肯定感が高まるし、たとえ失敗したとしても、次の取組への反省になります。決断し、挑戦したことを認めてあげてください。

さて、コロナは終息に向かっていますが、インフルエンザの猛威も含めて油断はできません。冬季休業中もこれまで同様に、感染症対策をお願いします。

最後に、これから本格的な冬に突入し、急な大雪になる可能性があります。冬季休業中の部活や、３学期の登校時においては、村内であっても積雪状況に差が予想されますので、お子さんの安全確保を第一に、各家庭で状況を判断しての対応をお願いします。

それでは３学期始業式に、生徒の皆さんが元気に登校してくれることを願っています。

よいお年をお迎えください。

授業参観および学校保健委員会でお世話になりました

11月25日（土）に授業参観と拡大学校保健委員会がありました。２年生はチャレンジウィークの体験発表会を兼ねており、保護者の皆様やお世話になった事業所の方々を前にして、学習の成果を発表しました。各事業所のＰＲポスターも作成し、賑やかに掲示しました。

４日間の体験の中で学んだ、勤労に対する思い等を自分の言葉で発表していました。お世話になった事業所の皆様には、重ねて感謝申し上げます。また、参観後には、学校保健講演会を実施し、臨床心理士であり、ＮＰＯ法人リンケージ代表の石川京子先生に『これからの未来を生きるみなさんの心と身体が育つこと』と題して、思春期の子どもの内面や保護者の気持ちのもち方などについてご講話をいただきました。

思春期は誰もが通る道であることを優しくお話しいただけました。生徒や職員、参加してくださった保護者の方々すべての心に響く貴重なお話でした。

人権特別授業を行いました

12月第１週は人権週間でした。昨年に引き続き村内の人権擁護委員である宮内栄子先生をお招きし、各学年に人権特別授業をしていただきました。人権学習の11項目の中から「ハンセン病についての偏見と差別」について学習し、誰もが幸せに生きる権利（人権）について考えを新たにしました。